



# THE KASHIWA STORY

かしわストーリー 第10号

柏市図書館のあり方の実現に向けて

2022年2月3日発行

市では、2019年2月に〈学ぶこと(学び)、分かちあうこと(共有)、創りだすこと(創造)を支え、「ひと」と地域を育みま

す)を基本理念とする「柏市図書館のあり方」を策定し、この実現に向けて様々な事業に取り組んでいます。実施した事業について「かしわストーリー」としてまとめることで、市民の皆さまにお知らせするとともに、記録として残していきます。今回は「地域」と「学校連携」に関する事業についてお知らせします。

図書館では、世代交代等により、市民が保管している地域の歴史や様々な活動を記録した資料が次々に失われていることに危機感を持っています。同時に、これらの資料を地域住民とともに収集・整理して次の世代に引き継ぐことは、地域の図書館の使命であると考えます。また、この資料収集活動は、地域の再発見につながるとともに、地域住民の交流や、地域への愛着などを醸成するきっかけとなるものと考えます。地域情報の拠点として図書館が機能することを目指して取り組んでいる事業を紹介します。

## 地域情報コーナーの設置を進めています

### 【高柳分館】

高柳地区で活動する「多世代型コミュニティ実行委員会」と協働し、高柳分館に地域情報コーナーを2021年3月24日に設置しました。

高柳や風早地域の方言を聞き取りによってまとめた資料、ゆかりの人物や地域の伝説や民話、行事等についてまとめたファイルの他、ふるさと協議会やボランティア団体等の活動を記録した資料を揃え、パネルの展示も行っています。



### 【増尾分館】

2021年6月30日に2箇所目の地域情報コーナー（高島野十郎コーナー）を増尾分館に設置しました。

近年、注目が集まる画家、高島野十郎は、1960年に都会の喧騒から逃れて柏市増尾の地に移り住みました。柏の田園風景を愛し、1975年にその生涯を閉じるまで、小さなアトリエで作画に打ち込みました。

ゆかりの地にある増尾分館で、野十郎の関連資料を集めるとともに、野十郎が暮らした当時の増尾地域の様子を紹介します。



## 県民の日、地域資料の一斉展示

6月15日の「県民の日」は、「県民が、郷土を知り、ふるさとを愛する心をはぐくみ、共に次代に誇りうる、より豊かな千葉県を築くことを期する日」として制定されました。図書館ではこの日にあわせ、全18館で地域に関する資料を数点展示し、書棚に並んでいても、普段は手に取る機会の少ない地域資料をPRしました。



## 「ふるさと柏のむかしばなしマップ」巡回展示

市内各地に伝わる「むかしばなし」を広い世代に知っていただき、地域に親しみ持つきっかけとなるよう、柏市観光協会が作成した「ふるさと柏のむかしばなしマップ」や挿絵付きの物語を図書館所蔵の資料とともに紹介しました。

昔ばなしの舞台となった地域にある分館等を巡回することで、多くの方に興味を持っていただくことができました。

布施分館	4月30日～5月26日	田中分館	11月10日～11月30日
沼南分館	6月2日～6月23日	田中小学校	12月2日～12月23日
本館	7月1日～7月22日	高田分館	12月7日～12月26日
藤心分館	10月5日～10月26日	増尾分館	2月9日～3月2日（予定）



## 学校連携事業

小中学生に、本に親しみ、活用する力や考えたことを伝える力を養う機会として、「おびコレ」と「ビブリオバトル」を実施しています。また、学校と連携することで、広く図書館の利用を促進することをめざしています。

### おびコレ2021

昨年度の「子ども司書」が、多くの方に読んで欲しいおすすめの本の「帯」を作成しました。今回は小中学校32校から140作品が寄せられ、本館（8月）と学校近くの分館（9月）で展示し、帯付きの本の貸出も行いました。

子ども達の感性で作成されたオリジナルの「帯」をまとった本は、新たな魅力を放っていました。



### 市内中学生ビブリオバトル

中学生によるビブリオバトル（知的書評合戦）を開催しました。新型コロナウイルス感染症対策のため、今年度もオンラインで実施し、13校から15名が参加しました。予選と決勝を行い、チャンプ本（『熱帯』森見登美彦／著）と準チャンプ本（『100の思考実験-あなたはどこまで考えられるか-』ジュリアン・バジーニ／著）に選ばれた本を本館で展示しました。



### 松戸特別支援学校の子どもたちが南部分館に来館

2021年10月28日と29日に、松戸特別支援学校の子ども達が図書館利用体験として南部分館に来館しました。今回の校外学習が、子ども達の読書活動や図書館利用のきっかけとなれば幸いです。

図書館では、今後も「誰もが使える図書館」を目指しサービスの改善を進めていきます。

